重要なお知らせ

ケーブルテレビのデジアナ変換で視聴や録画される方へ

2011年6月末より「デジアナ変換」サービスを開始します。

「デジアナ変換」とは
地上デジタル放送を従来のアナログ方式に変換して送信するサービスです。
（暫定的措置であり、2015年3月末で終了します。）

ご覧の放送がデジアナ変換されたものかどうかは、画面右上の表示「デジアナ変換」でわかります。

デジアナ変換視聴中の画面（例）

「デジアナ変換」による放送には、以下の機能上の制約がありますのでご注意ください。

1. 映像の上下（または上下左右）に黒帯が付きます。

画面の上下が黒帯の例

画面の上下左右が黒帯の例

機器の仕様により動作が異なる場合がありますので、ご注意ください。
詳しくはお使いの機器の取扱説明書などでご確認ください。

2. デジアナ変換による放送は、スタンダード画質（標準画質）での放送となります。

※ハイビジョン画質での放送ではありません。

3. Gガイドなど電子番組表（EPG）はご利用できません。

4. 「1回だけ録画可能」(注1)なコピー制御がかかり、DVD/HDDレコーダ(注2)での録画・ダビングに制限が加わります。

- CPRM非対応のDVD-R/+R/+RWには録画できません。
- 内蔵ハードディスクからDVDディスクにはダビングできません。
- デジタル録画機器へはダビングできません。　（詳しくは裏面をご覧ください）
- パソコンの場合、視聴や録画ができないことがあります。

5. データ放送や字幕放送、5.1チャンネルサラウンド放送はご利用できません。

データ放送の画面例

5.1サラウンド機器を使ってもサラウンドでは聴けません

6. 二カ国語デュアルステレオの場合は、第一音声のみとなります。

重要なお知らせ

ケーブルテレビのデジアナ変換でDVD/HDDレコーダに録画される方へ

2011年6月末から「デジアナ変換サービス」を開始します。

「1回だけ録画可能」(注1)なコピー制御がかかり、DVD/HDDレコーダ(注2)での録画・ダビングに制限が加わります。

制限事項

1. CPRM(注3)非対応のDVD-R/+R/+RWには録画できません。
2. 内蔵ハードディスクからDVDディスクにはダビングできません。
3. デジタル録画機器へはダビングできません。

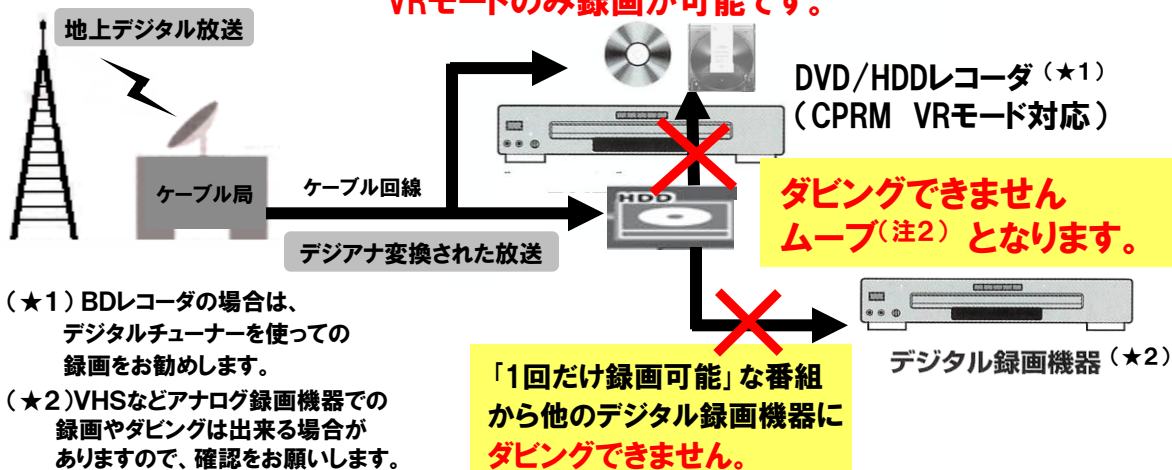
対応方法

「1回だけ録画可能」な番組を録画できるのは次の通りです。

1）CPRMに対応したDVD/HDDレコーダで、
2）CPRM対応のDVD-R/-RW、DVD-RAMディスクに、VRモードで録画してください。ビデオモードでは録画はできませんのでご注意ください。

ご注意：機器の仕様により動作が異なる場合がありますので、ご注意ください。
詳しくはお使いの機器の取扱説明書などでご確認ください。

（★1）BDレコーダの場合は、デジタルチューナーを使っての録画をお勧めします。

（★2）VHSなどアナログ録画機器での録画やダビングは出来る場合がありますので、確認をお願いします。

注1）「1回だけ録画可能」と同じ意味で、下記のような例の表現が使われていることがあります。
「ワンスコピー」「コピーワンス」「一世代のみコピー可」「デジタル1COPY」など。

注2）HDD内蔵タイプDVDレコーダでのムーブ（移動）機能について
・ムーブ（移動）機能がついている機器では、ハードディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組を、DVDに移動すると、元のハードディスクの番組は消去されます。
・ムーブ機能のついていない機器では、一度ハードディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組は、DVDに移動することはできませんのでご注意ください。

注3）CPRM（Content Protection for Recordable Media）
・記録媒体用著作権保護技術のことで、DVD-RW/-RAMなどの記録媒体に、著作権を保護する形で番組を録画するための仕組みです。
・「1回だけ録画可能」の番組を記録したディスクは、CPRM対応のDVDレコーダとDVDプレーヤで再生が可能です。